

原料費調整制度に基づく2022年10月検針分のガス料金について (群馬地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2022年10月検針分の単位料金を調整した結果、2022年9月検針分と比べ、1m³ (45MJ) につき4.37円 (消費税込) 上方に調整いたします。

なお、2022年5月～2022年7月の平均原料価格が48,920円/t (2022年10月に適用される調整上限) を超えたため、計算上は平均原料価格を48,920円/tとしてガス料金の調整を行っております。

これにより、1ヵ月に36m³のガスをお使いになる標準家庭で2022年9月検針分と比較して、157円 (消費税込) ガス料金が上がります。

2022年10月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～24m ³	料金表B 25～500m ³	料金表C 501m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,296.10	7,612.30
調整単位料金 (円/m ³)	149.78	128.23	115.61
(参考) 9月 調整単位料金	145.41	123.86	111.24

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³)	2022年 9月	2022年 10月	増減
適用料金(円/月)	5,755	5,912	157

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2022年4月～2022年6月 の平均 (9月検針分)	2022年5月～2022年7月 の平均 (10月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	49,040	52,950	3,910
LNG	101,840	110,680	8,840
LPG	110,290	110,320	30
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	21,600	25,600	4,000

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \frac{110,680}{110,320} \times 0.4414 \\
 & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \frac{110,320}{110,320} \times 0.0371 \\
 & &= & \frac{52,947.02}{52,950} \text{円/t} \quad (\text{調整上限}48,920\text{円/t})
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 & \frac{48,920}{(調整上限)} \text{円/t} - 27,350 \text{円/t} &= & \frac{21,570}{21,500} \text{円/t} \\
 & & & \downarrow (100\text{円未満切捨て})
 \end{aligned}$$

■単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{単位料金調整額} &= \frac{21,500}{100} \text{円} \times 0.0858^{*1} \\
 &= 18.44 \text{円}^{*2}
 \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³)	2022年 9月	2022年 10月	増減
適用料金(円/月)	5,755	5,912	157

・標準家庭料金の計算方法

群馬地区

$$\begin{aligned}
 \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金}(1,296.10\text{円}) \\
 &+ \text{調整単位料金}(109.79\text{円}) + \frac{18.44}{(単位料金調整額(税込))} \text{円} \times 36\text{m}^3 \\
 &\quad \text{料金改定時の基準単位料金(税込)↑} \quad \quad \quad \text{↑単位料金調整額(税込)}
 \end{aligned}$$

・本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が48,920円（2022年10月に適用される調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は48,920円としてガス料金の調整を行います。